

かぎろひ

品種分類

タイプ：サワー・中早生
 対応作型：夏まき
 球重目安：1.5～1.7kg



収穫目安（定植後）

夏まき：65～70日

特徴

- 夏播き年内収穫に適したサワー系品種。
- 球形はやや腰高の偏平系で、色は鮮緑色となる。定植後 65～70 日が収穫目安の中早生種となり、球重は 1.5～1.7kg が収穫目安。
- 葉質は柔らかく多汁で甘味がある。結球は締まり良く、巻きも良好のためカット販売にも適する。
- 外葉は半立性、濃緑色でやや大きめとなる。
- 萎黄病に耐病性を持つ。

栽培適期表

地域	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
高冷地				●	×	—	—	—	—	—	—	—	—
一般地							●	×	—	—	—	—	—
暖地								●	×	—	—	—	—

記号説明 ●:播種 ×:定植 —:栽培期間 ■:収穫期間

栽培方法

〈栽培管理〉

夏播き年内収穫に適した中早生品種です。一般的な中早生品種に比べて草勢は強く、初期から旺盛な生育を見せます。特に生育適温に入る 10 月からの生育は旺盛で、外葉形成が強く進みます。そのため特に黒ボク土での栽培では、やや元肥を抑え、生育の様子を見て追肥で調整することを推奨します。極端な多肥栽培（特にチッソ）では外葉形成が強くなり、

〈肥培管理〉

夏播きの年内収穫品種ですが、10 月収穫と 11 月収穫で肥培管理を少し変更します。

収穫期	10 月収穫	11 月収穫
注意点	収穫が高温期	11 月下旬では霜の可能性あり
対策	収穫前には肥効が落ち着くように。残効が強いと裂球を助長する。	結球期にもやや残効するように。欠乏はアントシアニンを助長する。

〈栽培方法〉

株間は 35～38cm、条間は 65cm の 1 条定植で、栽植本数は 4,400～4,800 株 /10a を推奨。肥培管理は一般的な中早生

結球の遅れ・乱れや小球の発生する可能性があるため注意が必要です。

根張りは良いため、乾燥や過湿条件下には比較的強いです。吸肥力も強く、微量要素の欠乏は発生しにくい品種となります。

厳寒期にはアントシアニンの発生が認められるため、収穫時期の設定に注意して下さい（青果目的であれば 11 月末までの収穫を推奨）。

種と同程度かやや少なめとし、総施肥量はチッソ換算で 14～16kg/10a とします。元肥メインとし、元肥：追肥＝2：1 程度のバランスで管理します。球の肥大は強いため、L 球収穫を狙う場合ではやや密植での栽培も可能（株間は 33cm 程度を推奨）。業務・加工向けに大玉を狙う場合には株間を 35cm 以上の設定を推奨。

〈ご注意〉

上記の数値は弊社圃場内での事例であり、各地域によって最適な条件へ変更していただくようお願いいたします。